

「えっ？ログハウスって別荘用でしょう？」。ログハウスに対して、まだまだこんな声が聞かれる。

近年、自然志向や健康志向への高まりで、幅広い世代で「住宅としてのログハウス」に



春野ログハウス
春野木材加工協業組合
(浜松市)

関心を寄せる方が増えてきた。冬暖かく夏涼しい断熱性。シックハウスとは無縁の木のぬくもり。ログハウスは木の特質を百パーセント発揮できると考えている。最近では耐震性にも優れていることが証明されている。

ところが、残念なのは「でもログハウスって、ほとんどが輸入ものなんでしょう」という声。確かに、現在、日本で建設されるログハウスの約7割は、フィンランドやカナダからの輸入。レッドシーザーやパイン材などの外国産材がほとんどだ。

施工する国産ログハウスメーカー。春野木材加工もそのひとつ。純国産ログハウスづくり一筋に29年。住宅用素材としては最良といわれる天竜杉、天竜ヒノキのみを使用し、設計から原木の伐採、加工、施工、メンテナンスまですべて地元スタッフが丸ごとになって取り組んでいる。建主からは「雨の日でも、室内はさらっとしています」

天竜材で本格ログハウス



天竜材を使う春野ログハウス

「同僚にいつも言われます。いい木の匂いがするねって」「建ててから十数年。ますます味わいが出てきました」などの感想が寄せられている。本物の木に囲まれて暮らす快適さを、これからも広く届けたいと思っている。

(進藤博行・春野ログハウス春野木材加工協業組合、浜松市)